

第3学年体育科学習指導案

日 時：令和元年 11 月 27 日（金）5 校時
場 所：新宿区立戸山小学校 体育館
対 象：第 3 学年

1 単元名 マット運動

2 単元の目標

『知識及び技能』

- ・回転系や巧技系の基本的な技ができる。

『思考力・判断力・表現力』

- ・自己の能力に適した課題を見つけ、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。

『主体的に学習に取り組む態度』

- ・運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。

3 運動の特性

○ 一般的特性

- ・自己の能力に応じた回転系、技巧系の技に挑戦し、個々の技やこれらの組み合わせが円滑にできるようになるところに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。
- ・タイミングの良さ、力強さ、体の柔らかさが向上する。
- ・床、平面での身体表現である。

○ 児童からみた特性

- ・非日常的な動きではあるが、できなかった技が出来るようになったり、技がさらに上達したりしたときに達成感や喜びを味わうことができる。
- ・「できた。」という実感が伴わなければ楽しむことができない。
- ・グループごとに技の組み合わせを考えることで、運動に取り組む意欲を向上させることができる。

4 児童の実態

○ 一般的な児童の実態

本学級の児童は、明るく元気であり、多くの児童が休み時間には教室を飛び出し、外遊びをしている。特にドッジボールや鬼ごっこが人気であり、男女分け隔てなく遊んである。一方、一部の児童は、教室で読書をしたり、絵を描いたりして過ごしている。外遊びをして過ごす児童と室内遊びをして過ごす児童は、どちらも固定化している。

グループ活動は、各グループのリーダーが中心となり、活動を進めたり、話し合いをまとめたりすることができるようになってきているが、一人の児童が集中できずにいると、流されてしまう児童も多く、学級の課題である。

○本单元にかかわる児童の実態（令和元年9月26日実施 回答数31名）

| 項目 | 回答（数字は人数） |
|--|--|
| ① 体育の学習は好きですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・好き 14 ・どちらかというが好き 11 ・どちらかというが好きではない 5 ・好きではない 1 |
| ② マット運動は好きですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・好き 11 ・どちらかというが好き 4 ・どちらかというが好きではない 10 ・好きではない 6 |
| ③ マット運動で「楽しい」と感じたときはどんなときですか。 （当てはまる数だけ○） | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい技、むずかしい技ができるようになったとき 18 ・今までできた技がさらに上手になったとき 16 ・技のコツやポイントを見つけたとき 7 ・友だちにアドバイスをもらったとき 11 ・友だちにほめられたとき 16 ・友だちにアドバイスをして、友だちが上達したとき 7 ・たくさん練習したとき 10 ・その他 0 |
| ④ マット運動で「楽しくない」と感じたときはどんなときですか。 （当てはまる数だけ○） | <ul style="list-style-type: none"> ・技がむずかしくてできないとき 20 ・技がかんたんすぎるとき 7 ・技をするのが「こわい」と思うとき 8 ・友だちにアドバイスをしてもらったとき 2 ・友だちにアドバイスをするとき 1 ・練習する時間が少ないとき 15 ・その他 0 |
| ⑤ マット運動でどんな技ができるようになりたいですか？ | <ul style="list-style-type: none"> ・後転 9 ・開脚前転 3 ・開脚後転 1 ・倒立 1 ・側方倒立回転 15 ・ロンダート 6 ・バック天 9 ・バック宙 2 |

アンケートの結果、①「体育の学習は好きですか。」の設問では、25名の児童が「好き」「どちらかというが好き」という肯定的な回答をしているのに対し、②「マット運動は好きですか」という設問では、「好き」「どちらかというが好き」という肯定的な回答が15名に減少している。肯定的な意見は、「できると嬉しいから」「得意だから」というものであり、否定的な意見は、「身体が硬いから」「何回練習してもできないから」というものであった。③「マット運動で「楽しい」と感じたときはどんなときですか。」、④「マット運動で「楽しくない」と感じたときはどんなときですか。」という二つの設問からも、新しい技や難しい技ができるようになったとき・技がさらに上達したとき・活動時間が確保されたときにマット運動が楽しいと感じる児童が多く、逆の場合、マット運動が楽しくないと感じている児童が多いと分かった。

また、友だちに褒められたときに喜びを感じる児童が多い一方、自分が友だちにアドバイスをするという意識は低いということも分かった。グループ活動を通して他者を意識させ、声を掛け合う意識をもたせることが必要である。

⑤「マット運動でどんな技ができるようになりたいですか？」の設問では、「どんな技があるのかわからない」という回答や質問があった。側方倒立回転は、5月の運動会で一部の児童が練習したため、回答する児童が多かったが、どういう技があるのかが分からなかったり、技の名前と動きが一致していなかったりする児童も多いことが明らかになった。

5 研究主題に迫るための手立てと工夫

- 研究主題「体育科を中心とした児童の健やかな成長～器械運動を通して～」
- 中学年分科会

目指す児童像「できる実感を味わい、運動に意欲的に取り組む児童」

仮説「自己の運動に関する課題を明確にし、自己の伸びを実感できる学習教材やスモールステップ型の単元構成の工夫を行うことで、中学年が目指す児童像に迫ることができるだろう。」

(1) 毎時間のはじめの感覚づくりタイム

授業のはじめに感覚づくりタイムを設け、毎時間後転を練習するように工夫した。後転ができない児童、後転に苦手意識がある児童が多いため、後転に繋がる動きを多く取り入れた。

(2) ICT機器を活用した指導（自己の運動に関する課題を明確にする）

自分やグループの動きを客観的に見ることができるよう、毎時間の活動でICT機器を取り入れた。また、授業時間以外でも前年の3年生のマットの発表会の映像を見せたり、技の紹介の映像を見せたりすることで、マット運動のゴールイメージをさせ、活動に意欲的に取り組むことができるようにした。

(3) 学習カードの工夫（自己の伸びを実感できる学習教材）

学習カードで毎時間の振り返りを書くことで、学習の積み重ねを行う。単元の後半ではグループのめあてを立て、授業の終わりに次時のめあてとして自分の課題を考えることができるようにした。

(4) 活動の場の工夫（スモールステップ型の単元構成の工夫）

単元の前半（第2時から第4時）では、技のポイントと練習の場を掲示し、活動することで、どの児童も自分が「できる」と感じることができるようにした。また、単元の後半（第5時から第7時）では、前半で学習した技のポイントと練習の場を活用し、各グループが苦手な技を克服したり、さらに完成度を高めたりすることができるようにした。

(5) グループで音楽に合わせた動きを行う工夫

グループで同じ動きを目指して練習することが、美しい基本の動きを意識することにつながると考えた。また、音楽を取り入れることで、楽しみながら意欲的に活動ができるように工夫した。

6 評価計画

| 時 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6(本時) | 7 | 8 |
|--------------|----------------|--|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 学習活動に即した評価規準 | 知識及び技能 | ① 運動する場や器械・器具の使い方を理解している。 ② 基本的な技の動き方や技のポイント、練習の仕方を理解している。 ③ 基本的な回転技や倒立技ができる。 | | | | | | | |
| | 思考力, 判断力, 表現力等 | ① 基本的な技の動き方や技のポイントを知るとともに、自分の力に合った課題を選んでいる。 ② 技のコツやポイントを観察しあって伝えている。 | | | | | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | ① 友だちと協力して、器械・器具の準備や片付けをしたり、安全に気をつけて運動したりしようとしている。 ② 技ができる楽しさや喜びに触れることができるよう、マット運動に進んで取り組もうとしている。 ③ 器械・器具の使い方や運動の行い方のきまりを守り、友だちと励まし合って運動をしようとしている。 | | | | | | | |
| 評価の重点 | 知識及び技能 | ① (観察) | ② (観察) | ② (観察) | ② (観察) | ③ (観察、ICT) | ③ (観察、ICT) | ③ (観察、ICT) | ③ (観察、ICT) |
| | 思考力, 判断力, 表現力等 | | ① (観察、学習カード) | ① (観察、学習カード) | ① (観察、学習カード) | ② (観察・発言) | ② (観察・発言) | ② (観察・発言) | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | ① (観察) | ② (観察) | ② (観察) | ② (観察) | ③ (観察) | ③ (観察) | | ① (観察) |

7 学習過程(全8時間)

| | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| <p>指導のねらい</p> | <ul style="list-style-type: none"> 場や器械、器具の安全に気をつけて行動できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 回転系や巧技系の基本的な技ができるようにする。 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。 | |
| <p>時</p> | <p>1</p> | <p>2</p> | <p>3</p> |
| | <p>オリエンテーション</p> | <p>前転、開脚前転</p> | <p>開脚後転</p> |
| <p>学習活動</p> | <p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>マットの練習の仕方を知ろう。</p> </div> <p>2 マットの準備の仕方、感覚づくりタイムの仕方、グループでの見合いの仕方を知る。(ICT)</p> <p>3 準備運動</p> <p>4 場の準備をする。</p> <p>5 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操 かえるの足うち ゆりかご アンテナ <p>5 感想を出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>6 クーリングダウンをする。</p> <p>7 マットの片づけをする。</p> | <p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>前転と開脚前転を身に付けよう。</p> </div> <p>2 準備運動</p> <p>3 場の準備をする。</p> <p>4 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操、かえるの足うち、ゆりかご、アンテナ <p>5 ポイントタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 前転のポイントを確認する。 <p>6 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) <p>7 感想を出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>8 クーリングダウンをする。</p> <p>9 マットの片づけをする。</p> | <p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>開脚後転を身に付けよう。</p> </div> <p>2 準備運動</p> <p>3 場の準備をする。</p> <p>4 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操、かえるの足うち、ゆりかご、アンテナ <p>5 ポイントタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 後転のポイントを確認する。 <p>てのひらは耳の横に。あごは首に付けて、おへそをのぞき込む。背中を丸めて、お尻、背中、腰、首の順番でつく。</p> <p>6 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) <p>7 感想を出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>8 クーリングダウンをする。</p> <p>9 マットの片づけをする。</p> |
| <p>つますきの例</p> | <ul style="list-style-type: none"> | <ul style="list-style-type: none"> 頭が入らない。 足で強く蹴って回る。 立ち上がれない。 | <ul style="list-style-type: none"> お尻が上がらない。 回転が途中で止まる。 立ち上がれない。 |
| <p>児童への支援 努力を要する</p> | | <ul style="list-style-type: none"> 回るときの目線を意識させる。 腰の位置を高くする。 かかととお尻を近づける。 | <ul style="list-style-type: none"> 遠くにお尻をつく。 体を丸め、おへそを見ながら、お尻・背中・後頭部の順番に回る。 両手でマットを最後まで押す。 |
| <p>児童への支援 できる状況にある おおむね満足</p> | <ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童を取り上げ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童を取り上げ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童を取り上げ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 |

| | | | |
|-------------------|---|---|--|
| 指導のねらい | <ul style="list-style-type: none"> 回転系や巧技系の基本的な技ができるようにする。 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械 器具の安全に気を付けたりすることができる。 | | |
| 時 | 4 | 5 | 6(本時) |
| | 側転 | 習得した動きを使って演技を考える。 | 演技の練習をする。 |
| 学習活動 | <p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">側転を身に付けよう。</div> <p>2 準備運動</p> <p>3 場の準備をする。</p> <p>4 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操、かえるの足うち、ゆりかご、アンテナ <p>5 ポイントタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 側転のポイントを確認する。 <p>てのひらは耳の横に。あごは首につけて、おへそをのぞき込む。背中を丸めて、お尻、背中、腰、首の順番でつく。</p> <p>6 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) <p>7 感想を出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>8 クーリングダウンをする。</p> <p>9 マットの片づけをする。</p> | <p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">発表会に向けて準備をしよう。</div> <p>2 発表会までの練習の仕方を知る。</p> <p>3 準備運動</p> <p>4 場の準備をする。</p> <p>5 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操、かえるの足うち、ゆりかご、アンテナ <p>6 グループでの話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲決め(6曲の中から選択する。) メトロノーム音を使って、技の組み合わせを考える。 <p>7 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) <p>8 感想を出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>9 クーリングダウンをする。</p> <p>10 マットの片づけをする。</p> | <p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">発表会に向けて練習をしよう。</div> <p>2 準備運動</p> <p>3 場の準備をする。</p> <p>5 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操、かえるの足うち、ゆりかご、アンテナ <p>6 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) <p>7 感想を出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>8 クーリングダウンをする。</p> <p>9 マットの片づけをする。</p> |
| の例 つまずき | <ul style="list-style-type: none"> 両足着地になる。 バランスが崩れる。 | | |
| 児童への支援 努力を要する | <ul style="list-style-type: none"> 手一手一足一足の感覚を身に付ける。 手をつく方向につま先を向け、あごを出す。 | | |
| 児童への支援 きめ細やかなる | <ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童をとりあげ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 | | |

| | | |
|----------------------|---|---|
| ねらい 指導の | <ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に適した課題を見つけ、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 | |
| 時 | 7 | 8 |
| | 演技の練習をする。 | 発表会 |
| 学習活動 | <p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">発表会に向けて練習をしよう。</div> <p>2 準備運動 3 場の準備をする。 4 感覚づくりタイム 5 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> グループの発表曲に合わせた練習をする。 グループごとに見合いながら、改善点を話し合う。(ICT) <p>6 感想を出し合い、学習のまとめをする。 7 クーリングダウンをする。 8 マットの片づけをする</p> | <p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">発表会をしよう。</div> <p>2 準備運動 3 場の準備をする。 4 感覚づくりタイム 5 発表会をする。 6 感想を出し合い、学習のまとめをする。 7 クーリングダウンをする。 8 マットの片づけをする</p> |
| つまずきの例 | <ul style="list-style-type: none"> 未完成の技がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 未完成の技がある。 |
| 児童への支援 努力を要する | <ul style="list-style-type: none"> グループで見合い、アドバイスをし合うように声掛けをする。 | <ul style="list-style-type: none"> グループで見合い、アドバイスをし合うように声掛けをする。 |
| おおむね満足できる状況にある児童への支援 | <ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童を取り上げ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童を取り上げ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 |

8 本時の学習（6／8時間目）

（1）ねらい

○知識及び技能

基本的な回転技や倒立技ができる。

○思考力,判断力,表現力

技のコツやポイントを観察しあって伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

器械・器具の使い方や運動の行い方のきまりを守り、友だちと励まし合って運動をしようとしている。

※ 本時では、「主体的に学習に取り組む態度」を重点的に評価する。

（2）本時の展開

| 学習活動 | ○教師の支援 ☆評価 |
|---|---|
| <p>1 集合、整列、挨拶</p> <p>2 学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">発表会に向けて練習をしよう。</div> <p>3 準備運動</p> <p>4 場の準備</p> <p>5 感覚づくりタイム</p> <p>ねこちゃん体操</p> <p>かえるの足うち</p> <p>アンテナ</p> <p>ゆりかご→前転、後転</p> <p>6 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 班から順に発表の場で練習をする。 ・ 一曲ごとに班が入れ替わり、発表の時間でない班は、練習の場で、班ごとに練習をする。 ・ 発表の場での練習が終わった班は、各班の練習の場に戻り、タブレットで発表の振り返りを行う。発表の振り返りができたら練習の場を設置し、各班練習をする。 <p>7 学習の振り返り</p> <p>8 クーリングダウン</p> <p>9 マットの片づけ</p> <p>10 整列・挨拶</p> | <p>○服装の確認をする。</p> <p>○掲示物を用いて、本時の学習のめあてや流れを確認する。学習のめあてとともに、グループのめあて、個人のめあてを掲示する。</p> <p>○安全に注意して活動するよう声掛けをする。</p> <p>○準備運動、場の準備、感覚づくりタイムは、各グループが音楽に合わせて活動するように声掛けをする。</p> <p>○ 技の資料を掲示し、各班で練習の場を設けたり、技の完成度確かめたりすることができるようにしておく。</p> <p>○ 全体が見渡せる位置に立ち、安全に気を付ける。</p> <p>☆ 技のコツやポイントを観察しあって伝えている。 《思考力,判断力,表現力》</p> <p>○ 学習カードに記入させる。グループのめあて、個人のめあてについてよくなった点、課題がある点を具体的に記入させる。</p> <p>○安全に注意して活動するよう声掛けをする。</p> |